

作成日 2023年 8月 29日

安全データシート

1. 化学品および会社情報

化学品の名称	2-ブロモエタノール 2-Bromoethanol
製品名	2-ブロモエタノール
製品コード	F-017624
SDS整理番号	ZC23015-01
会社名称	善ケミカル株式会社
住所	東京都台東区台東2-30-2 善ビル3階
電話番号	03-3839-5861
FAX番号	03-3839-5877
緊急連絡電話番号	03-3839-5861
推奨用途および使用上の制限	医薬・農薬・電材等中間体

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	引火性液体	区分4
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	区分2
	急性毒性(経皮)	区分2
	急性毒性(吸入: 蒸気)	区分2
	皮膚腐食性/刺激性	区分1B
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分1
環境に対する有害性		該当区分なし

注) 上記のGHS分類で区分の記載がない危険有害性項目については「分類対象外」、「区分に該当しない」または「分類できない」に該当する。

GHSラベル要素

絵表示またはシンボル



注意喚起語 危険

危険有害性情報

H227 可燃性液体
H300 飲み込むと生命に危険
H310 皮膚に接触すると生命に危険
H314 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
H330 吸入すると生命に危険

注意書き

【安全対策】

P210 熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。禁煙。
P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
P262 眼、皮膚、衣類につけないこと。
P264 取扱後は手や顔をよく洗うこと。
P270 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
P271 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
P284 呼吸用保護具を着用すること。

【応急措置】

P301+P310 飲み込んだ場合: ただちに医師に連絡すること。
P301+P330+P331 飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
P302+P352 皮膚に付着した場合: 多量の水や石けんで洗うこと。
P303+P361+P353 皮膚(または髪)に付着した場合: ただちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を水で洗うこと。
P304+P340 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
P305+P351+P338 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

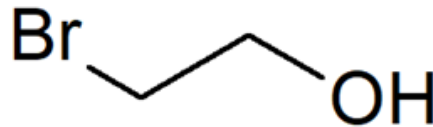
- P330 口をすすぐこと。
 P361+P364 汚染された衣類をただちにすべて脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
 P370+P378 火災の場合: 消火するために粉末消火剤、泡消火剤または大量の水を使用すること。
 【保管】
 P403+P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
 P405 施錠して保管すること。
 【廃棄】
 P501 内容物、容器の廃棄を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

GHS分類に関係しないまたはGHSで扱
 れない他の危険有害性 情報なし
 重要な徴候および想定される非常事態の
 概要 情報なし

3. 組成および成分情報

単一物質・混合物の区別 単一物質
 化学名または一般名 2-ブromoエタノール
 2-Bromoethanol
 慣用名または別名 2-ブromoエタン-1-オール、β-ブromoエチルアルコール
 CAS番号 540-51-2
 分子式 (分子量) C₂H₅BrO (124.965)

構造式または示性式



成分および濃度または濃度範囲 98.00%以上
 官報公示整理番号

化審法: (2)-2002
 安衛法: 公表化学物質

4. 応急措置

吸入した場合 被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 ただちに医師に連絡すること。
 皮膚に付着した場合 ただちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと、または取り去ること。
 皮膚を多量の水と石けんで十分に洗うこと。
 ただちに医師に連絡すること。
 眼に入った場合 水で15分以上注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 ただちに医師に連絡すること。
 飲み込んだ場合 口をすすぐこと。
 無理に吐かせないこと。
 ただちに医師に連絡すること。
 応急措置をする者の保護に必要な注意事項 適切な保護具を着用する。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 粉末、泡、大量の水、二酸化炭素
 使ってはならない消火剤 情報なし
 火災時の特有の危険有害性 燃焼や高温により分解し、有毒なヒュームを発生するおそれがあるので注意
 する。
 特有の消火方法 消火作業は風上の安全な地点から行き、周囲の状況に応じた適切な消火方
 法を用いる。
 関係者以外は安全な場所に退去させる。
 周辺火災の際は危険でなければ火災区域から容器を移動する。
 消火活動を行う者の特別な保護具および
 予防措置 消火作業の際は、必ず保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急
 時措置 個人用保護具を着用する。
 漏出場所の風上から作業し、風下の人を退避させる。
 十分に換気を行う。
 漏出した場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立入りを禁止す
 る。
 環境に対する注意事項 製品が排水路に排出されないよう注意する。
 封じ込めおよび浄化の方法および機材 ウェス、乾燥砂、土、おがくずなどに吸収させて回収する。

二次災害の防止策

大量の流出には盛土で囲って流出を防止する。
 付着物、回収物などは、関係法規に基づき速やかに処分する。
 付近の着火源、高温体などを速やかに取り除く。
 着火した場合に備えて消火用器材を準備する。
 火花を発生しない安全な用具を使用する。

7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い

技術的対策

取扱いは換気のよい場所で行う。
 適切な保護具を着用すること。
 漏れ、あふれ、飛散しないよう注意し、みだりに蒸気を発生させないこと。
 炎および高温のものから遠ざけること。
 静電気対策を行うこと。
 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。
 取扱い後は手や顔など、露出した部分をよく洗い、うがいをする事。
 できれば密閉系で取扱うこと。
 蒸気やエアロゾルが発生する場合には、換気、局所排気を用いること。
 皮膚、眼および衣類との接触を避ける。

安全取扱注意事項

保管

安全な保管条件

容器を密閉し、冷暗所に保管すること。
 施錠して保管すること。
 湿気を避けること。

安全な容器包装材料

酸化剤などの混触危険物質から離して保管する。
 法令の定めるところに従う。

8. ばく露防止および保護措置

管理濃度
設備対策

設定されていない。
 装置、機器の密閉化あるいは局所排気装置を設置すること。
 この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

保護具

呼吸用保護具

防毒マスク、自給式呼吸器、送気マスク等。

手の保護具

不浸透性の手袋。

眼、顔面の保護具

保護眼鏡(ゴーグル型)。状況に応じ保護面。

皮膚および身体の保護具

不浸透性の保護衣。状況に応じ、保護長靴。

9. 物理的および化学的性質

物理状態

液体

形状

透明

色

無色～うすい黄色

臭い

特異臭

融点/凝固点

-80℃

沸点または初留点および沸点範囲

150℃

可燃性

情報なし

爆発下限界および爆発上限界/可燃限界

情報なし

引火点

110℃(密閉式引火試験)

自然発火点

情報なし

分解温度

情報なし

pH

情報なし

動粘性率

情報なし

溶解度

混和

[水]

情報なし

[その他の溶剤]

情報なし

可溶:

情報なし

n-オクタノール/水分配係数(log値)

蒸気圧

0.32kPa/20℃

密度および/または相対密度(g/ml)

1.75

相対ガス密度

4.3

粒子特性

情報なし

10. 安定性および反応性

反応性

情報なし

化学的安定性

適切な条件下においては安定。

危険有害反応可能性

特別な反応性は報告されていない。

避けるべき条件

高温と直射日光、熱、炎、火花、静電気、スパーク、湿気

混触危険物質

酸化剤、酸、塩基

危険有害な分解生成物

二酸化炭素、一酸化炭素、臭化水素

11. 有害性情報

急性毒性	経口	ipr-mus LDLo:80 mg/kg
	経皮	情報なし
	吸入: ガス	情報なし
	吸入: 蒸気	情報なし
	吸入: 粉じん および ミスト	情報なし
皮膚腐食性/刺激性		情報なし
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性		情報なし
呼吸器感作性		情報なし
皮膚感作性		情報なし
生殖細胞変異原性		mmo-klp 15 mmol/L (-S9)
発がん性		ipr-mus TDLo:150 mg/kg/8w-I
生殖毒性		情報なし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)		情報なし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)		情報なし
誤えん有害性		情報なし

12. 環境影響情報

生態毒性		
魚類		情報なし
甲殻類		情報なし
藻類		情報なし
残留性・分解性		情報なし
生物蓄積性(BCF)		情報なし
土壤中の移動性		
	n-オクタノール・水分配係数	情報なし
	土壤吸着係数(Koc)	情報なし
	ヘンリー定数(PaM3/mol)	情報なし
オゾン層への有害性		当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。 廃棄に際しては適切な保護具を着用すること。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共 団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理すること。
汚染容器および包装の安全で、かつ、環境 上望ましい廃棄、またはリサイクルに関する 情報	容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制ならびに地方自治体の基準に 従って適切な処分を行うこと。

14. 輸送上の注意

国際規制	
国連番号	2922
国連輸送名	CORROSIVE LIQUID, TOXIC, N.O.S. (2-プロモエタノール)
国連分類	クラス8(腐食性物質)
副次危険性等級	クラス6.1(毒物)
容器等級	II
海洋汚染物質	非該当
その他の注意	輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み 込み、荷崩れの防止を確実にを行う。
緊急時応急措置指針番号	132

15. 適用法令

消防法	第4類引火性液体、第二石油類水溶性液体(法第2条第7項危険物別表第1・ 第4類)【4 第二石油類水溶性液体】
特定有害廃棄物輸出入規制法	特定有害廃棄物(法第2条第1項第1号イ、平成30年6月18日省令第12号) 【別表第6第25号ニ イ、ロ又はハに掲げる有機ハロゲン化合物以外の有機 ハロゲン化合物を含む物】
航空法	腐食性物質(施行規則第194条危険物告示別表第1)【【国連番号】2920 そ の他の腐食性物質(液体)(引火性のもの)】
船舶安全法	腐食性物質(危規則第3条危険物告示別表第1)【【国連番号】2920 そ の他の腐食性物質(液体)(引火性のもの)】
港則法	その他の危険物・腐食性物質(法第20条第2項、規則第12条、危険物の種類 を定める告示別表)【2又 その他の腐食性物質(液体)(引火性のもの)】
道路法	車両の通行の制限(施行令第19条の13、(独)日本高速道路保有・債務返済 機構公示第12号・別表第2)【5 第二石油類水溶性液体】

外国為替及び外国貿易法

輸出貿易管理令別表第1の16の項【HS2905 非環式アルコール並びにそのハロゲン化誘導体、スルホン化誘導体、ニトロ化誘導体及びニトロソ化誘導体】

輸出貿易管理令別表第2(輸出の承認)【35の2項(1) イ、ロ又はハに掲げる有機ハロゲン化合物以外の有機ハロゲン化合物を含む物】

輸入貿易管理令第4条第1項第2号輸入承認品目「2の2号承認」【イ、ロ又はハに掲げる有機ハロゲン化合物以外の有機ハロゲン化合物を含む物】

16. その他の情報

主な参考文献

webデータベース "ezADVANCE"(2023/08/28 アクセス)

ウェブサイト "PubChem"(2023/08/28 アクセス)

安全データシート "2-Bromoethanol", 東京化成工業株式会社
2022/03/18 改訂版

安全データシート "2-ブロモエタノール", 富士フィルム和光純薬株式会社
2023/01/29 改訂版

安全データシート "2-Bromoethanol", Sigma-Aldrich Japan G.K.
2022/10/19 改訂版

(Manufacturer's) SAFETY DATA SHEET (2-Bromoethanol), LIFE CHEM PHARMA

記載内容の取扱いについて

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。注意事項は通常取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

改訂履歴 2023年 8月 29日 作成